

令和2年度 しあわせの村(しあわせの森)の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

※表中数値は「全体」以外は建設局所管分

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	「神戸市民の福祉をまもる条例」の理念の実現を目指し、市民福祉の高揚、福祉活動の推進、健康の増進等の事業を行い、市民福祉の総合的推進を図る。 面積約13.94ha(野外活動センターあおぞら等、温泉健康センター、運動広場、球技場、テニスコート、アーチェリー場)
(2)指定管理者	しあわせの村運営共同事業体
(3)指定期間	令和2年4月1日～令和4年3月31日
(4)R2市支出額(単位;円)	協定締結額:445,034,000円(全体:1,245,780,000円) 決算額:449,590,543円(精算額:4,556,543円) ※協定・決算額は当初提案額から、派遣職員人件費(協定:20,000,000円、決算:20,021,231円)を差引いたもの

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況		2年度の状況
	①施設の維持管理業務	・広大かつ多様な園地の管理や植栽管理 ・施設及び設備の保守点検、修繕、清掃、備品管理等
	②施設の運営業務	・公園の総合的なマネジメント、利用料金の徴収、イベントや市民協働活動の推進による活性化 [新型コロナウイルス感染症対策による施設の閉鎖等] 令和2年4月～5月 運動施設、温泉、会議室等の閉鎖 令和3年1月～3月 屋内運動施設、温泉、会議室等の時短営業
	③その他の業務	・駐車場、レストラン、売店、馬事公苑等
(2)利用状況		2年度の状況
	①施設利用状況	件数22,618件(対前年度比72%)、元年度31,263件、30年度30,299件
	②その他利用状況	・リサイクルバザー 新型コロナのため実施なし 入村車両数:1,286,364台、元年度1,492,386台、30年度1,508,625台
(3)収支状況		2年度の状況
	①使用料または利用料金収入	使用料(建設分)131,547千円(対前年度比57%)、元年度 229,442千円、30年度229,421千円
	②指定管理者の収支状況	①指定管理部分 [収入額] 1,417,415千円 [支出額] 1,462,058千円 [差引]▲ 44,643千円 ②自主事業部分 [収入額] 864,344千円 [支出額] 810,206千円 [差引] 54,138千円
(4)その他		2年度の状況
	行動指針に対する対応	①ホスピタリティーの充実を図るとともに、市民のニーズに応えた新たなサービスの提供を通じた利便性の向上や新たな魅力創出による施設の活性化を実現し、利用者満足度の向上に取り組む →「アイ・ドラゴン4」の設置や民間事業者との連携によるアスレチック遊具の運営など ②誰もが安心して「つどい」、「憩う」ことができる環境を提供していくとともに、子どもや子育て世代の方々にとってより利用しやすい施設を目指し、サービスの提供や環境整備のさらなる充実に取り組む →18歳未満の子どもを含むグループの普通車駐車料金の無料化を実施

### 3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

		提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率		元年度(前年度)実績31,263件	2年度利用件数22,618件(対前年度比72%)
②収入目標額		収入目標額248,218千円	実績131,547千円(対目標比53%)
③その他新たなサービス	指定管理者による提案及び実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料シャトルバスの運行(鈴蘭台、北須磨団地、妙法寺駅方面)(利用者25,922人)</li> <li>・水泳、卓球、アーチェリーなど高齢者、障がい者向けスポーツ教室の開催(参加1,135人)</li> <li>・地元野菜などの直売所「しあわせマルシェ」の営業(利用者134,360人)</li> </ul>	
	提案外で行った、特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手話や字幕による番組や緊急情報を受・発信できる「アイドラゴン4」を温泉健康センター、野外活動センターに新たに設置</li> <li>・コロナ禍でのニーズを踏まえ家族単位で楽しめるイベントの新規実施(わくわくクイズラリー、村の小さなお祭り等)及び情報発信の強化(HP内に「しあわせ村NEWSびっくあっぷ」を新設)</li> </ul>	

### 4. 利用者の満足度調査等

		2年度の状況	
①満足度調査の実施内容	アンケートの実施	令和3年2月	
	アンケート回収数	97件	(令和元年 200件)
②満足度調査の結果	満足 78名 普通 19名 不満 0名 不明 0名 満足度{ (「満足」×2+「普通」×1) ÷ (「満足」+「普通」+「不満」) × 100 ÷ 2 } ⇒ 90% (R1:83%) ※本結果は回収数が少ないため参考扱いとする。		
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	トイレを洋式化してほしい。 →多目的運動広場、テニスコートクラブハウス、アーチェリー場、日本庭園、馬事公苑の洋式化を施工		

### 5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	OAAA	OAA	●A	OB	OC
所見	2年度は新型コロナ禍による影響が大きく、緊急事態宣言による園内各施設の休館や営業時間短縮等により、施設利用者数及び利用料金収入が大きく減少する一方で、安心して利用できる屋外空間として、芝生広場やトリム園地等には連日多くの利用者で賑わっていた。 運営面では、本市の総合福祉施設として、障がい者や高齢者が参加できる活動や健常者との交流イベントの開催など感染症対策を講じながら実施した。 特に令和2年度は、手話や字幕による番組や緊急情報を受・発信できる「アイドラゴン4」を温泉健康センター、野外活動センターに新たに設置するなど、施設利用増進及び施設利用者の視点での施設運営を行っている。 今後も、施設利用者の様々なニーズに対応した取り組みを行うとともに、適切な施設運営に取り組まれない。				

令和2年度 森林植物園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	六甲山の山なみと自然を背景に、端正な樹形をした針葉樹を林として植栽し、四季を彩る落葉樹や花木をそえる樹木植物園として、博物館相当施設・社会教育施設の役割を果たす。 面積142.6ha 施設・修景的緑地・自然林・造成林・駐車場等
(2)指定管理者	公益財団法人神戸市公園緑化協会
(3)指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
(4)R2市支出額(単位:円)	協定締結額:174,045,260円 決算額:180,870,078円(精算額:6,824,818円) ※協定・決算額は当初提案額から、派遣職員人件費(協定20,000,000、決算20,180,382円)を差引いたもの

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況		2年度の状況
①施設の維持管理業務	・森林植物園の趣旨にもとづいた植栽・樹林管理、園地管理 ・施設及び設備の保守点検、修繕、清掃、備品管理等	
②施設の運営業務	・施設の総合的なマネジメント、入園料の徴収、イベント等の実施による公園の活性化 ・営業時間 9時～17時 水曜日は休園(イベント時は臨時・夜間開園あり) [新型コロナウイルス感染症対策による施設の閉鎖等] 令和2年4月11日～5月17日 休園	
③その他の業務	・食堂・休憩所、売店、駐車場、自販機	
(2)利用状況		2年度の状況
①施設利用状況	入園者数 195,739人(対前年度比91%)、元年度 214,452人、30年度 213,445人	
②その他利用状況	三大散策会(つつじ・しゃくなげ:休園、あじさい:42,191人、もみじ:76,083人)	
(3)収支状況		2年度の状況
①使用料または利用料金収入	入園料:28,471千円(対前年度比98%)、元年度 28,967千円、30年度 28,676千円	
②指定管理者の収支状況	・指定管理部分 収入180,870千円 費用176,198千円 差引4,672千円 ・収益事業部分 収入 36,095千円 費用 22,387千円 差引13,708千円	
(4)その他		2年度の状況
行動指針に対する対応	①森林の生態系を維持していくため、長期的な視点で策定された展示林保全管理年次別計画に基づいた園地管理 →季節の見所となる植物の適切な管理(つつじ,しゃくなげ,あじさい等)、健全な森林に向けた植物管理(ナラ枯れ,マツ枯れ対応等) ②魅力あるプログラムと効果的なプロモーションにより、来園者の増加と顧客満足度の向上に努める。 →植物園の特性を活かした各種プログラムや多様なイベントの実施	

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	目標入園者数 225,000人	入園者数実績 195,739人 (対目標比87%) (うち有料入園者数 109,334人)

②収入目標額	目標収入額 30,000千円	入園料実績 28,471千円(対目標比95%)
③その他新たなサービス	指定管理者による提案及び実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三大散策会(つつじ・しゃくなげ:休園、あじさい42,191人、もみじ76,083人)(元年度139,222人)</li> <li>・季節の見所となる植物の適切な管理(ツツジ,シャクナゲ,アジサイ等)、健全な森林に向けた植物管理(ナラ枯れ,マツ枯れ対応等)</li> <li>・新たな植物景観創出のための新規植栽及び環境改善(アナベルの森づくり 等)</li> <li>・多様なターゲットに向けたイベントの充実(親子バードウォッチング、森のラッキータイム、アウトドアフェスタ、早朝ヨガ 等)</li> </ul>
	提案外で行った、特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起工80周年イベント(生物多様性シンポジウム等)の開催</li> </ul>

#### 4. 利用者の満足度調査等

		2年度の状況
①満足度調査の実施内容	アンケートの実施 アンケート回収数	令和3年2月 10件 (令和元年 200件)
②満足度調査の結果		満足 7名 普通 3名 不満 0名 不明 0名 満足度{(「満足」×2+「普通」×1)÷(「満足」+「普通」+「不満」)}×100÷2 ⇒ 85%(R1:89%) ※本結果は回収数が少ないため参考扱いとする。
③利用者からの主な苦情, 意見とそれへの対応		・若い世代にもっとPRしてほしい。→Instagram、フェイスブックでの発信回数の増及び訴求力のある情報(画像)発信に努める。

#### 5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	○AAA ●AA ○A ○B ○C
所見	<p>2年度は新型コロナ禍による4～5月の休園期間があったが、施設再開後(6月以降)は前年度を上回る集客を得て、入園者数・入園料収入ともに前年度並みを確保することができた。</p> <p>運営面では、季節ごとの散策イベントや主要な見どころとなる植物の管理、新たな見どころ創出のための新規植栽及び環境改善等を適切に実施し、博物館相当施設として植物や森林に生息する動物の特性を把握した展示により森林文化を発信するなど、提案内容を臨機応変に工夫しながら着実に実施した。さらに、健康をテーマに園内の地形や植物などの自然環境を活かす企画等により入園者の獲得に努めた。</p> <p>今後も引き続き中長期的な視点で自然を生かした森林景観創出の取り組みを行うとともに、市民が安心してくつろげる貴重な屋外空間としての価値を高め、入園者獲得(特に有料入園者数の増加)に努められたい。</p>

令和2年度 離宮公園の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	豊かな緑、四季に変化する多くの花木、恵まれた眺望や変化に富んだ造形美を生かし、潤いと安らぎのある市民の憩いの場をめざす 面積82.6ha 施設・修景的緑地・自然林・造成林・駐車場等
(2)指定管理者	神戸市公園緑化協会・神戸市造園協力会グループ
(3)指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
(4)R2市支出額(単位:円)	協定締結額:173,972,222円 決算額:172,623,188円(精算額:△1,349,034円) ※協定・決算額は当初提案額から、派遣職員人件費(協定25,000,000円、決算28,818,561円)を差引いたもの

2. 管理運営内容

(1)管理実施状況	2年度の状況	
①施設の維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の景観や修景に配慮した植栽管理を行い、本公園の特徴である「バラ園」を充実</li> <li>・施設・設備の保守点検、修繕、清掃、備品管理等</li> </ul>	
②施設の運営業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の総合的なマネジメント、入園料の徴収、イベント等の実施による公園の活性化</li> <li>・営業時間 9時～17時 木曜日は休園(イベント時等は臨時・夜間開園あり)</li> <li>[新型コロナウイルス感染症対策による施設の閉鎖等]</li> <li>令和2年4月11日～5月19日 休園</li> </ul>	
③その他の業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レストハウス(レストラン)「ガーデンパタジェ」、臨時売店、駐車場、和室</li> </ul>	
(2)利用状況	2年度の状況	
①施設利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園者数 221,518人(対前年度比72%)、元年度 308,207人、30年度 286,023人</li> </ul>	
②その他利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春のローズフェス(休園)、秋のローズフェス33,905人</li> </ul>	
(3)収支状況	2年度の状況	
①使用料または利用料金収入	<ul style="list-style-type: none"> <li>入園料:39,636千円(対前年度比77%)、元年度 51,589千円、30年度 46,321千円</li> </ul>	
②指定管理者の収支状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理部分 収入172,623千円 費用171,547千円 差引1,076千円</li> <li>・収益事業部分 収入37,493千円 費用 26,105千円 差引11,388千円</li> </ul>	
(4)その他	2年度の状況	
行動指針に対する対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>①四季折々の開花や紅葉等、植物を楽しめる運営管理及びバラ園の充実、普及・啓発に努める。 →季節ごとの開花に合わせたきめ細やかな植物管理と、植物を活かした企画展示の実施</li> <li>②レストラン等の魅力アップや活用、利用者へのサービス向上に努める。 →新レストランのオープンによる新たな顧客層の取り込み及び連携事業の展開</li> </ul>	

3. 主な提案内容と達成状況(再掲)

	提案内容(目標値など)	達成状況
①利用者数または利用率	目標入園者数 282,000人	入園者数実績 221,518人 (対目標比79%) (うち有料入園者数 117,629人)

②収入目標額	目標収入額 42,000千円	入園料実績 39,636千円(対目標比94%)
③その他新たなサービス	指定管理者による提案及び実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春・秋ローズフェスティバルの開催 春:休園 秋33,905人(元年度105,602人)</li> <li>・神戸女子大学CP連携事業(ゼミ学習、ワークショップ、バルーンアート、イベントボランティア等)</li> <li>・新レストラン事業者との連携による園のイメージ向上及び新たな客層の取り込み</li> <li>・インスタグラム広告掲出、マスコミ取材など積極的な広報の展開</li> <li>・和菓子店団体等と連携した土産品の販売</li> </ul>
	提案外で行った、特筆すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣大学等と連携したバラの無農薬の試験栽培事業の開始</li> <li>・園内産蜂蜜「Rikyu Honey」を活用した新たな連携(神戸女子大や和菓子店団体との共同開発等)</li> <li>・市補助事業(経済観光局)を活用したキッチンカーの出店による利便性向上</li> <li>・施設利用(和室)のオンライン決済導入</li> </ul>

#### 4. 利用者の満足度調査等

		2年度の状況	
①満足度調査の実施内容	アンケートの実施	令和3年2月	
	アンケート回収数	5件	(令和元年 200件)
②満足度調査の結果	<p>満足 4名 普通 1名 不満 0名 不明 0名  満足度{(「満足」×2+「普通」×1)÷(「満足」+「普通」+「不満」)}×100÷2  ⇒ 90%(R1:88%)  ※本結果は回収数が少ないため参考扱いとする。</p>		
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レストランが混雑している。→混雑緩和のため、キッチンカーも出店</li> <li>・イベントの掲示がわかりにくい。→わかりやすい案内を検討していく</li> </ul>		

#### 5. 選定評価委員会の評価

管理運営に対する総合評価	●AAA ○AA ○A ○B ○C
所見	<p>2年度は、春バラ開花期の休園のほか、年間を通じ多くのイベントが中止になるなど厳しい状況であったが、5月下旬の施設再開後は入園者数・入園料収入ともに前年度を上回るなど、安心して楽しめる屋外施設として浸透している。</p> <p>運営面では、指定管理者の専門性を活かし、関西随一のバラ園としての魅力向上をはじめ、園内各エリアで次々に見頃を迎える花のきめ細やかな管理、剪定、補植などの景観整備を中長期的な視点で行った。</p> <p>一方で、養蜂事業やバラの栽培などについて、近隣大学や和菓子店団体等と協働で商品開発に取り組むなど、連携事業を着実に進め、独自の特徴的な取り組みとしていることは評価できる。</p> <p>今後も、園の本質である庭園景観の向上を図り、「緑地改善計画」に則し中長期的展望に基づいた安定的な園地管理を行うとともに、広大なオープンスペース及びアクセスの利点を活かし、新たな需要に対応した施設運営やPRの展開等により、入園者獲得(特に有料入園者数の増加)に努められたい。</p>